

【問題1】重症度分類は中度の知的発達症が疑われる小学 3 年生の心理査定を行うにあたり、知能・発達検査は何を行ったらよいか、適切な検査名とその検査を選んだ理由を述べなさい。

【問題2】言語獲得について、Chomsky, N. の LAD と Bruner, J. の LASS について違いを述べなさい

【問題3】緊急時の支援法としてデブリーフィングを用いることについて、近年のとらえ方を述べなさい

【問題4】

友人関係の満足度を従属変数、大学への期待度、大学の居心地の良さを独立変数として、重回帰分析を行った。決定係数 R^2 は 0.309、共線性の統計量 VIF が 10.73 であった。この結果の意味を説明しなさい。

【英文】

Schizophrenic patients often experience multiple dysfunctions in thinking and behavior as well as discord in mental activities. Patients often show various clinical symptoms, including difficulties in judging other people's emotions and intentions during the onset of the disease. Such difficulties promote the onset of psychotic symptoms and, ultimately, lead to significant social dysfunction and reduced capacity to function. Bulgari et al. (2020) discovered that patients' lack of ability to accurately recognize facial expression is one reason for aggressive behavior often seen in the disease, and as a result, communication between patients with schizophrenia and society is inseparable from the process of recognizing facial emotions.

Gao, Z., et al., (2021) Facial Emotion Recognition in Schizophrenia. *Front. Psychiatry*, 04 May 2021, Sec. Schizophrenia.より

【問題5】上記英文の要旨を日本語で簡潔にまとめなさい(150 字以内)。

【問題1:心理アセスメント】

DSM-5-TR での知的発達症の重症度分類は、知的機能 IQ と適応機能の両方を評価して行われる。一応 IQ も評価の対象である。中度レベルの知的発達症が推定される場合、DSM-5 では IQ 値は 35～50 未満程度と推定される(ただし各都道府県・政令指定都市により異なる)。ウエックスラー系を小3の子どもに使用する場合、WISC-Vである。ウエックスラー系の知能検査の IQ は IQ40～160 の範囲で算出される。しかし、中度発達遅滞が推定される場合、IQ は 40 以下である可能性も高く、ビネー検査や新版 K 式発達検査を用いるのが適当である。

【問題2:発達心理学】

Chomsky, N. は、ヒトの子どもは生得的な言語獲得装置 Language Acquisition Devices(LAD) をあらかじめ備えており、子どもはいわば生まれつき言語についての知識を持っているとした。これに対し、Bruner, J.は Chomsky, N.の LAD が作動し始める為にはさらにそれが言語獲得支持システム Language Acquisition Support System (LASS), 言語獲得の基礎となるものによって支えられていることが必要であると指摘した。特に、言語獲得の基礎となるものは、母子関係の「対ひと」関係の format であるとした。(鹿取博人, 1987, 心理学の立場から、失語症研究, 7, 197-202.)

【問題3:臨床心理学】

解答例:

ストレスとなった直前の出来事における認知や考え、情緒的反応を、積極的かつ系統的に語るように求めることにより、感情の表出を促す(心理的デブリーフィング: psychological debriefing) 手法である。心理的デブリーフィングは 1990 年代までは PTSD の発症を予防する手法として用いられたこともあったが、混乱した状況で専門家によるサポートもなく実施することは、かえって悪影響を与える可能性があるという研究結果が出されるようになった。そのため、現在では、緊急時支援としての心理的デブリーフィングは国際的に否定されている。(大沼 2017, 日本内科学会)

【問題4:統計】

解答例:

決定係数 R^2 が 0.5 を超えていないため、重回帰式の説明力は十分ではない。更に、VIF が 10 を超えており、多重共線性が発生している。近い要因を独立変数にしている為、独立変数同士の相関が強いことが考えられ、別の要因の独立変数を用いた方がよい。

【問題5: 英文の要旨を 150 字以内でまとめなさい】

全訳: 統合失調症患者は、思考や行動における多様な機能障害や精神活動の不調和を経験することが多い。患者は発症時に他人の感情や意図を判断することが困難になるなど、さまざまな臨床症状を示すことが多い。このような困難は精神病症状の発症を促し、最終的には重大な社会的機能障害や機能する能力の低下につながる。Bulgari (2020)は、患者の顔の表情を正確に認識する能力の欠如が、この病気によく見られる攻撃的行動の一因であり、その結果、統合失調症患者と社会とのコミュニケーションは、顔の感情を認識するプロセスと切り離せないことを発見した(250 字)。

要旨: 統合失調症患者は、発症時にしばしば他人の感情や意図を判断することが困難になるという臨床症状を示すことが多い。このような他人の感情を判断することの困難は社会的機能の低下につながる。Bulgari (2020)は、患者の顔の表情を正確に認識する能力の欠如が、この病気によく見られる攻撃的行動の一因であることを報告した(145 字)。

● 一般入試

問1 マーカー部分は各 4 点 × 5 = 20 点

問2 マーカー部分は各 4 点 × 5 = 20 点

問3 マーカー部分は各 4 点 × 5 = 20 点

問4 マーカー部分は各 4 点 × 5 = 20 点

問5(英語) マーカー部分各 2 点 × 10 = 20 点

合計 100 点

【問題 1】 Bandura, A. について説明しなさい。

【問題 2】 「内発的動機付け」と「外発的動機付け」について説明しなさい。

【問題 3】 公認心理師の秘密保持義務とその例外について説明しなさい。

【問題 4】 大学生の主観的幸福感尺度得点について、学年と性別を独立変数として差の検討を行いたい。

- ① 適切な分析方法を答えなさい。
- ② ①で答えた分析について、説明しなさい。

【問題 5】 以下の英文を訳しなさい。

These children of alcoholics also risk developing serious psychosocial problems. Miller and Jang(1977) in their study of children from poor, urban, multi-problem families found that children from alcoholic families had greater socialization difficulties than did children from nonalcoholic families, even though all were from the same multi-problem group. The children were more likely to have run away from home, been suspended or expelled from school, and had shown more frequent signs of emotional strain. Interestingly, not one child in this study had ever participated in Al-Anon or Alateen activities, although most knew about them.

* 出題者註: Al-Anon、Alateen はアルコール依存症の家族や若者向けの支援プログラムを指す。
出典: 「An Elephant in the Living Room」より一部抜粋

【問題 1】

- ・カナダの心理学者
- ・無試行で無報酬であっても観察によって学習が成立することを「観察学習」、他者の遂行とその帰結（強化や罰）が観察している学習者にも報酬や罰としての機能を及ぼすことを「代理強化」と名付け、人間の学習が社会の中で行われることを強調する社会的学習理論を提唱した。
- ・モデルにさらすこと、およびその結果として観察者に様々な効果が生ずることを「モデリング」とした。
- ・「自身が環境に影響を与えることができ、自分の行動と結果をコントロールできる」という信念である、自己効力感の概念を示した。

参考：社会心理学辞典 北小路書房

【問題 2】

- ・外発的動機付け：報酬や賞賛といった、何かを得るための手段として行動すること
- ・内発的動機付け：行動の遂行によって興味や好奇心、満足、喜びを見出すように、行動そのものが目的となっていること。
- ・内発的動機付けは、能動的、主体的な学習にかかわるものとして教育心理学分野で注目、研究が進められている。

参考：臨床心理学類出 j キーパーソナル辞典 ナツメ社

【問題 3】

秘密保持義務

- ・公認心理師法第 41 条
- ・「公認心理師は、正当な理由がなく、その業務に対して知り得た人の秘密を漏らしてはならない。公認心理師でなくなった後においても、同様とする。」
- ・違反した場合の罰則 公認心理師法第 46 条罰則「1 年以下の懲役又は 30 万円以下の罰金」
- ・違反した場合の行政処分：登録取り消し、名称の使用制限

例外

- ・明確で差し迫った危機があり、攻撃される相手が特定されている場合
- ・自殺など、自分自身に対して深刻な危害を加えるおそれのある緊急事態
- ・虐待が疑われる場合
- ・そのクライアントのケア等に直接関わっている専門家同士で話し合う場合
- ・法による定めがある場合
- ・医療保険による支払いが行われる場合
- ・クライアントが、自分自身の精神状態や心理的な相談に関連する訴えを裁判などで提起した場合
- ・クライアントによる明示的な意志表示がある場合

参考：『公認心理師現任者講習会テキスト 2020 年版』金剛出版

【問題 4】

①適切な分析方法を答えなさい。

2 要因分散分析

② ①で答えた分析について、説明しなさい。

- ・分散分析は3群以上の平均値を比較する場合に使用する。
- ・2 要因以上の場合、1つの要因の効果を「主効果」、2つ以上の要因が組み合わさって生じる効果を「交互作用」と言う。
- ・交互作用が有意でなければ主効果の結果に注目し、交互作用が有意である場合はその後の検定として多重比較を行う必要がある。

【問題 5】

アルコール依存症の親を持つ子どもたちは、深刻な心理社会的問題を抱えるリスクがあります。Miller & Jang (1977) は、貧困層で都市部に住む多問題家庭の子どもを対象にした研究で、アルコール依存症の家庭の子どもは、非アルコール依存症の家庭の子どもに比べて、社会化の困難が大きいことを発見しました。両方のグループとも複雑な家庭背景を持っていましたが、違いは顕著でした。

この子どもたちは、家出・学校の停学や退学・頻繁な感情的ストレスの兆候などが多く見られました。興味深いことに、この研究に参加した子どもの中に、Al-Anon や Alateen に参加したことがある者は一人もいませんでした。ほとんどの子どもがそれらの活動の存在は知っていたにもかかわらずです。

● 一般入試

問 1 マーカー一部分は各 4 点 × 5 = 20 点

問 2 各説明があていれば 10 点 × 2 = 20 点

問 3 秘密保持義務: 1 か所 × 4 点
例外: 1 か所 × 1 点 (最大 20 点)

問 4 ①10 点 ②マーカー一部分は各 2 点 × 5 = 10 点 (合計 20 点)

問 5 マーカー一部分は各 4 点 × 5 = 20 点

合計 100 点

問1 心理的アセスメントに関する以下の文章を読んで、問いに答えなさい。

Aは、小学校4年生の女兒で、同居家族は両親、一人っ子として大切に育てられた。出生前後の問題は特になく、反抗期もほぼ気づかれず、幼少期からおとなしく恥ずかしがり屋で、母親と離れることがむづかしい子供だった。同じような性格の友達と1対1で仲良くすることはあったが、大勢の中で楽しそうに過ごすことは見られなかった。いじめなどはなかったものの、特に行事など、普段とは違う場面に対する不安が強く、小学校3年生頃から、腹痛を訴えるようになった。次第に休みがちになり、登校しても授業中にぼーっとしていたり、提出物も出さないなど、担任も心配する様子が見られるようになり、スクールカウンセラーも関わりつつ、母親に対してAの専門機関への相談を勧めることとなった。

母親が心理相談室への相談を申し込み、公認心理師であるインテーカーは、公認心理師の業務のひとつである心理的アセスメントを行うこととなった。予約の日に来所したAと母親との初回面接を行い、(1) ラポールを形成しながら、(2) いくつかの質問をした。

さらに、Aがどのような心理的困難にあるのかを理解して見立てるために、(3) いくつかの心理検査を行い、その結果をフィードバックする中で、Aと母親の希望も聞きながら、その後の具体的な心理支援活動を計画することとした。

- (1) ラポール形成とは、具体的にどのようなことを意味しますか。
- (2) この初回面接で、あなたが心理的アセスメントを行うためにすると思う質問は、どのようなものがありますか。いくつか具体的な質問を考えて書きなさい。
- (3) 心理的アセスメントのために複数の検査を組み合わせることを意味する用語を書きなさい。
- (4) この事例の心理的アセスメントのために適切な心理検査を2つ以上挙げなさい。

問2 科学者－実践家モデルについて、説明せよ。

問3 重回帰分析について、説明せよ。

問4 ウォルピ (Wolp, J.) の系統的脱感作法について、説明せよ。

問5 以下の英文を読んで、問題に答えなさい。

A young carer is someone aged under 18 who cares for a friend or family member who, due to illness, disability, a mental health problem or an addiction, cannot cope without their support. Older young carers are also known as young adult carers and they may have different support needs to younger carers.

- (1) 上の英文を和訳しなさい。
- (2) 英文の内容について、心理支援職の視点から、考えるところを述べなさい。

問1

(1) (配点：4点)

クライアントが話しやすいリラックスした雰囲気をつくるための、セラピストの言葉かけや態度など。

(2) (配点：具体例1つにつき2点 最大8点)

【例】(本人に) お名前は？どこに住んでいますか？家族は何人ですか？なにをして遊ぶのが好きですか？好きな科目、きれいな科目はありますか？今日はなんて言われてここに来たの？など。

(母に) 小さいときのお友達とは、どんなふうに遊んでいましたか？こうでないといけない、というような決まったルールはありますか？おうちの方とは、どんなふうに話していますか？楽しかったことを報告してくれますか？学校の話はしていますか？学校の日の前の晩はどんな様子ですか？お父さんからはどんな声掛けがありますか？ご夫婦で子育てについて、どんなふうに話し合いますか？子育てのサポートはありましたか？

(3) (配点：4点)

テスト・バッテリー

(4) (配点：4点 マーカー部分必須+1つ以上)

WISC-V (IVも可) 以外に、HTPP、バウムテスト、SCT など

問2 (配点：マーカー部分 各4点×5か所 合計20点)

ボードナー会議において提唱された、臨床心理学の訓練モデル。臨床心理学者はまず心理学者であることが求められることとなった。すなわち、人間行動の科学的理解を基盤として、現実の場面におけるクライアントの苦悩を取り除く実践を行うべきだということを意味する。

(参考：サトウタツヤ著 臨床心理学史 東京大学出版会)

問3 (配点：20点)

複数の説明変数(独立変数)と基準変数(従属変数)に与える影響を検討することや、複数の説明変数から基準変数を推測する場合に用いられる。

問4 (配点：マーカー部分 各4点×5点 合計20点)

ウォルピは、神経症行動を誤った(古典的)条件付けによるものと考え、不安を生じるような条件刺激のもとで、不安と拮抗する条件反応(リラックス)を生起させればよいと考えた。このプロセスが逆制止と呼ばれるものであり、ウォルピは逆制止を起こすためのプロセスを系統的脱感作法として技法化した。

(参考：サトウタツヤ著 臨床心理学史 東京大学出版会)

問 5

(1) (配点：10 点)

「ヤングケアラー」とは、18 歳未満の若者で、病気、障害、精神的な問題、あるいは依存症などの理由により、支えがなければ日常生活が困難な家族や友人の世話をしている人のことを指します。また、年長のヤングケアラーは「ヤングアダルトケアラー（若年成人ケアラー）」とも呼ばれ、年少のヤングケアラーとは異なる支援ニーズを抱えている可能性があります。

(ケアラーズ・トラストウェブサイトより)

(2) (配点：マーカー部分各 5 点×2 か所 合計 10 点)

【例】近年ヤングケアラーの問題は、社会問題としても着目されており、心理臨床の場に来ること自体がむつかしい状況も考えられる。とくに教育・福祉領域の心理支援職としては、地域や他（多）職種連携を通して、ヤングケアラーの抱える困難について、その心理的影響や家族支援を考慮しつつ積極的に支援を進めるべきである。

【問題 1】

失語症とは何を指すかを説明したうえで、Wernicke 失語と Broca 失語の特徴をそれぞれ述べなさい。

【問題 2】

心理アセスメントの意義について、エビデンスに基づく実践(EBP)の観点から述べなさい。

【問題 3】

感情の末梢起源説と中枢起源説をそれぞれ説明しなさい。

【問題 4】

分散分析における主効果と交互作用について説明しなさい。具体的な 2 要因計画の分析を例示しても良い。

【問題 5】

以下の英文の要旨を日本語で完結にまとめなさい (250 字以内)。

The emotions and physiological arousal created by stressful situations are highly uncomfortable. This discomfort then motivates individuals to take action to alleviate it. The term “coping” refers to the process by which a person attempts to manage stressful demands, and it primarily takes two major forms. One approach is to focus on the specific problem or situation that has arisen, seeking ways to change it or avoid it in the future. The other approach involves alleviating the emotions associated with the stressful situation, even if the situation itself cannot be changed.

【問題 1：学習及び言語／言語の習得における機序】

マーカー部分各 5 か所×4 点（計 20 点）

解答例：失語症とは、**脳梗塞等による脳損傷**に由来する、**いったん獲得された言語の操作能力の低下や消失**を指す。**心因性のものや、もともとの発達の障害は失語症には含まない**。ウェルニッケ（Wernicke）失語は**単語や文の理解障害が特徴**で、意味はなさないものの流暢に発話ができる場合もある。一方でブローカ（Broca）失語は**発話の障害であり失構音や発語失行**を呈するが、単語や文の理解は可能である場合もある。

【問題 2：心理アセスメントの意義】

マーカー部分各 5 か所×4 点 ただし黄色の部分不足していた場合、各 1 点減点

※漢字をひらがな等で表記していても特に減点はしない。（計 20 点）

解答例：心理アセスメントの意義は、**クライアントの問題を多面的かつ客観的に把握し、心理支援の方向性を根拠に基づいて決定する点**にある。単なる診断名の確定ではなく、現在の適応水準、環境要因、維持要因を明らかにし、仮説を立てて介入計画へと結びつける過程である。**エビデンスに基づく実践（EBP）では、①最良の研究知見、②臨床家の専門性、③クライアントの価値・状況を統合する**ことが求められるが、アセスメントはその統合の基盤となる。標準化検査や行動観察によって得られたデータは、研究知見と照合され、**個別性に合った支援選択を可能にする**。さらに、**介入後の効果検証にも活用され、実施された心理支援の妥当性を継続的に検討する役割を果たす**。

【問題 3：感情及び人格／感情に関する理論と感情喚起の機序】

マーカー部分各 5 か所×4 点（計 20 点）

解答例：感情の末梢起源説は**ジェームズランゲによって提唱された説**であり、刺激によって心拍や血圧の変化等の**身体反応が喚起され、それが脳へと伝達されることで感情体験が生じる**とした説である。一方で、感情の中枢起源説は**キャノンやバードによって提唱された**

説であり、脳が刺激を知覚することで感情体験と身体反応が同時に喚起されるとした説である。この説においては脳の視床を感情の中枢として捉えた。

【問題4：心理学における研究／心理学で用いられる統計手法】

マーカー部分各5か所×4点 (計20点)

解答例：例えば、要因A「学習意欲の高低」と要因B「旧教授法と新教授法」という2つの要因が、期末試験の得点に及ぼす影響を検討するとする。主効果とは、他方の要因の水準まとめて全体の平均を求めた時、一方の要因の水準によって平均値が異なるか否かを意味している。この例では、「2つの教授法を取りまとめた学習意欲が高い群の期末試験の得点の平均値が、同じく学習意欲が低い群の平均値よりも高い」という結果が考えられる。これが要因Aの主効果である。また、「学習意欲の高低を取りまとめた旧教授法群の平均値が、同じく新教授法の平均値よりも低い」という結果があれば、これは要因Bの主効果である。一方で、ある要因の条件によって他方の要因の効果が異なることを交互作用という。例えば、「旧教授法を受けた場合、学習意欲が低い群の方が高い群よりも得点が高いが、新教授法を受けた場合は差が反対であり、学習意欲が高い群の得点が高い」という結果が、交互作用を表している。交互作用が有意である場合、単純主効果の検定をおこなう。片方の要因から特定の水準を抜き出し、他方の要因による差異(効果)があるか検定する。

【問題5：英文要旨要約】(20点)

解答例：ストレスによって生じる感情や生理的覚醒は非常に不快である。この不快感は、その状況を和らげるために行動を起こす動機付けになる。コーピングとはストレスに対して対処しようとするプロセスのことで、主に2つのアプローチがある。一つは、発生した問題や状況に焦点を当て、それを変える方法や将来的に避ける方法を見つけようとするのである。もう一つは、状況そのものを変えられなくても、ストレスに伴う感情を和らげることに焦点を当てるものである。(212文字)

【問題1】重症度分類は中度の知的発達症が疑われる小学 3 年生の心理査定を行うにあたり、知能・発達検査は何を行ったらよいか、適切な検査名とその検査を選んだ理由を述べなさい。

【問題2】言語獲得について、Chomsky, N. の LAD と Bruner, J. の LASS について違いを述べなさい

【問題3】緊急時の支援法としてデブリーフィングを用いることについて、近年のとらえ方を述べなさい

【問題4】

友人関係の満足度を従属変数、大学への期待度、大学の居心地の良さを2つを独立変数として、重回帰分析を行った。決定係数 R^2 は 0.309、共線性の統計量 VIF が 10.73 であった。この結果の意味を説明しなさい。

【問題1:心理アセスメント】

DSM-5-TR での知的発達症の重症度分類は、知的機能 IQ と適応機能の両方を評価して行われる。一応 IQ も評価の対象である。中度レベルの知的発達症が推定される場合、DSM-5 では IQ 値は 35~50 未満程度と推定される(ただし各都道府県・政令指定都市により異なる)。ウエックスラー系を小3の子どもに使用する場合、WISC-Vである。ウエックスラー系の知能検査の IQ は IQ40~160 の範囲で算出される。しかし、中度発達遅滞が推定される場合、IQ は 40 以下である可能性も高く、ビネー検査や新版 K 式発達検査を用いるのが適当である。

【問題2:発達心理学】

Chomsky, N. は、ヒトの子どもは生得的な言語獲得装置 Language Acquisition Devices(LAD) をあらかじめ備えており、子どもはいわば生まれつき言語についての知識を持っているとした。これに対し、Bruner, J.は Chomsky, N.の LAD が作動し始める為にはさらにそれが言語獲得支持システム Language Acquisition Support System (LASS), 言語獲得の基礎となるものによって支えられていることが必要であると指摘した。特に、言語獲得の基礎となるものは、母子関係の「対ひと」関係の format であるとした。(鹿取博人, 1987, 心理学の立場から, 失語症研究, 7, 197-202.)

【問題3:臨床心理学】

解答例:

ストレスとなった直前の出来事における認知や考え、情緒的反応を、積極的かつ系統的に語るように求めることにより、感情の表出を促す(心理的デブリーフィング: psychological debriefing) 手法である。心理的デブリーフィングは 1990 年代までは PTSD の発症を予防する手法として用いられたこともあったが、混乱した状況で専門家によるサポートもなく実施することは、かえって悪影響を与える可能性があるという研究結果が出されるようになった。そのため、現在では、緊急時支援としての心理的デブリーフィングは国際的に否定されている。(大沼 2017, 日本内科学会)

【問題4:統計】

解答例:

決定係数 R^2 が 0.5 を超えていないため、重回帰式の説明力は十分ではない。更に、VIF が 10 を超えており、多重共線性が発生している。近い要因を独立変数にしている為、独立変数同士の間が強いことが考えられ、別の要因の独立変数を用いた方がよい。

● 社会人入試

- 問1 マーカー部分は各 5 点 × 5 = 25 点
- 問2 マーカー部分は各 5 点 × 5 = 25 点
- 問3 マーカー部分は各 5 点 × 5 = 25 点
- 問4 マーカー部分は各 5 点 × 5 = 25 点

合計 100 点

2026 年度 大学院入学試験 推薦入試・社会人入試Ⅱ期 筆記試験（心理学専攻）
試験時間 90 分

【問題 1】 Bandura, A. について説明しなさい。

【問題 2】 「内発的動機付け」と「外発的動機付け」について説明しなさい。

【問題 3】 公認心理師の秘密保持義務とその例外について説明しなさい。

【問題 4】 大学生の主観的幸福感尺度得点について、学年と性別を独立変数として差の検討を行いたい。

- ① 適切な分析方法を答えなさい。
- ② ①で答えた分析について、説明しなさい。

【問題 1】

- ・カナダの心理学者
- ・無試行で無報酬であっても観察によって学習が成立することを「観察学習」、他者の遂行とその帰結（強化や罰）が観察している学習者にも報酬や罰としての機能を及ぼすことを「代理強化」と名付け、人間の学習が社会の中で行われることを強調する社会的学習理論を提唱した。
- ・モデルにさらすこと、およびその結果として観察者に様々な効果が生ずることを「モデリング」とした。
- ・「自身が環境に影響を与えることができおり、自分の行動と結果をコントロールできる」という信念である、自己効力感の概念を示した。

参考：社会心理学辞典 北小路書房

【問題 2】

- ・外発的動機付け：報酬や賞賛といった、何かを得るための手段として行動すること
- ・内発的動機付け：行動の遂行によって興味や好奇心、満足、喜びを見出すように、行動そのものが目的となっていること。
- ・内発的動機付けは、能動的、主体的な学習にかかわるものとして教育心理学分野で注目、研究が進められている。

参考：臨床心理学類出 j キーパーソソキーワード辞典 ナツメ社

【問題 3】

秘密保持義務

- ・公認心理師法第 41 条
- ・「公認心理師は、正当な理由がなく、その業務に対して知り得た人の秘密を漏らしてはならない。公認心理師でなくなった後においても、同様とする。」
- ・違反した場合の罰則 公認心理師法第 46 条罰則「1 年以下の懲役又は 30 万円以下の罰金」
- ・違反した場合の行政処分：登録取り消し、名称の使用制限

例外

- ・明確で差し迫った危機があり、攻撃される相手が特定されている場合
- ・自殺など、自分自身に対して深刻な危害を加えるおそれのある緊急事態
- ・虐待が疑われる場合
- ・そのクライアントのケア等に直接関わっている専門家同士で話し合う場合
- ・法による定めがある場合
- ・医療保険による支払いが行われる場合
- ・クライアントが、自分自身の精神状態や心理的な相談に関連する訴えを裁判などで提起した場合
- ・クライアントによる明示的な意志表示がある場合

参考：『公認心理師現任者講習会テキスト 2020 年版』金剛出版

【問題 4】

①適切な分析方法を答えなさい。

2 要因分散分析

② ①で答えた分析について、説明しなさい。

- ・分散分析は 3 群以上の平均値を比較する場合に使用する。
- ・2 要因以上の場合、1 つの要因の効果を「主効果」、2 つ以上の要因が組み合わさって生じる効果を「交互作用」と言う。
- ・交互作用が有意でなければ主効果の結果に注目し、交互作用が有意である場合はその後の検定として多重比較を行う必要がある。

● 社会人入試

問 1 マーカー部分は各 5 点 $\times 5 = 25$ 点

問 2 各説明があていれば 10 点 $\times 2 = 20$ 点
+ 追記で 5 点（合計 25 点）

問 3 秘密保持義務：1 か所 $\times 5$ 点
例外：1 か所 $\times 1$ 点（最大 25 点）

問 4 ①10 点 ②マーカー部分は各 3 点 $\times 5 = 15$ 点（合計 25 点）

合計 100 点

問1 心理的アセスメントに関する以下の文章を読んで、問いに答えなさい。

Aは、小学校4年生の女兒で、同居家族は両親、一人っ子として大切に育てられた。出生前後の問題は特になく、反抗期もほぼ気づかれず、幼少期からおとなしく恥ずかしがり屋で、母親と離れることがむづかしい子供だった。同じような性格の友達と1対1で仲良くすることはあったが、大勢の中で楽しそうに過ごすことは見られなかった。いじめなどはなかったものの、特に行事など、普段とは違う場面に対する不安が強く、小学校3年生頃から、腹痛を訴えるようになった。次第に休みがちになり、登校しても授業中にぼーっとしていたり、提出物も出さないなど、担任も心配する様子が見られるようになり、スクールカウンセラーも関わりつつ、母親に対してAの専門機関への相談を勧めることとなった。

母親が心理相談室への相談を申し込み、公認心理師であるインテーカーは、公認心理師の業務のひとつである心理的アセスメントを行うこととなった。予約の日に来所したAと母親との初回面接を行い、(1) ラポールを形成しながら、(2) いくつかの質問をした。

さらに、Aがどのような心理的困難にあるのかを理解して見立てるために、(3) いくつかの心理検査を行い、その結果をフィードバックする中で、Aと母親の希望も聞きながら、その後の具体的な心理支援活動を計画することとした。

- (1) ラポール形成とは、具体的にどのようなことを意味しますか。
- (2) この初回面接で、あなたが心理的アセスメントを行うためにすると思う質問は、どのようなものがありますか。いくつか具体的な質問を考えて書きなさい。
- (3) 心理的アセスメントのために複数の検査を組み合わせることを意味する用語を書きなさい。
- (4) この事例の心理的アセスメントのために適切な心理検査を2つ以上挙げなさい。

問2 科学者－実践家モデルについて、説明せよ。

問3 重回帰分析について、説明せよ。

問4 ウォルピ (Wolp, J.) の系統的脱感作法について、説明せよ。

問1

(1) (配点：5点)

クライアントが話しやすいリラックスした雰囲気をつくるための、セラピストの言葉かけや態度など。

(2) (配点：具体例1つにつき2点 最大10点)

【例】(本人に) お名前は？どこに住んでいますか？家族は何人ですか？なにをして遊ぶのが好きですか？好きな科目、きらいな科目はありますか？今日はなんて言われてここに来たの？など。

(母に) 小さいときのお友達とは、どんなふうに遊んでいましたか？こうでないといけない、というような決まったルールはありますか？おうちの方とは、どんなふうに話していますか？楽しかったことを報告してくれますか？学校の話はしていますか？学校の日の前の晩はどんな様子ですか？お父さんからはどんな声掛けがありますか？ご夫婦で子育てについて、どんなふうに話し合いますか？子育てのサポートはありましたか？

(3) (配点：5点)

テスト・バッテリー

(4) (配点：5点 黄色必須+1つ以上)

WISC-V (IVも可) 以外に、HTPP、バウムテスト、SCT など

問2 (配点：マーカー部分 各5点×5か所 合計25点)

ボールダー会議において提唱された、臨床心理学の訓練モデル。臨床心理学者はまず心理学者であることが求められることとなった。すなわち、人間行動の科学的理解を基盤として、現実の場面におけるクライアントの苦悩を取り除く実践を行うべきだということを意味する。

(参考：サトウタツヤ著 臨床心理学史 東京大学出版会)

問3 (配点：25点)

複数の説明変数(独立変数)と基準変数(従属変数)に与える影響を検討することや、複数の説明変数から基準変数を推測する場合に用いられる。

問4 (配点：マーカー部分 各5点×5点 合計25点)

ウォルピは、神経症行動を誤った(古典的)条件付けによるものと考え、不安を生じるような条件刺激のもとで、不安と拮抗する条件反応(リラックス)を生起させればよいと考えた。このプロセスが逆制止と呼ばれるものであり、ウォルピは逆制止を起こすためのプロセスを系統的脱感作法として技法化した。

(参考：サトウタツヤ著 臨床心理学史 東京大学出版会)